

図書便り

第134号
2016/7/19発行
茨城県立筑波高等学校
図書委員会

夏休みがやってくる!!!

たくさん本を読んで、知識を深めよう。そして、おもいきり感動しよう。

読書感想文校内コンクール

(審査 国語科・図書部)

読書感想文校内コンクールを実施します。上位3名の作品は、「青少年読書感想文コンクール茨城県の部」に応募します。

(1)課題図書の部

タスキメシ (小学館) 著者: 額賀 滯

高校駅伝、箱根駅伝の臨場感溢れる描写とともに、箱根駅伝を夢見て長距離走に青春を捧げる陸上青年それぞれの思いと生き様が熱く描かれる。青年達の挫折、友情、兄弟愛・を満たします。



ハーレムの闘う本屋 ルイス・ミショーの生涯 (あすなろ書房)

作者: ヴォーニダ・ミショー・ネルソン, R・グレゴリー・クリスティ, 原田勝訳

この本は、ニューヨークの黒人地区ハーレムで、全米一の黒人専門書店を作ったルイス・ミショーという人のドキュメンタリー・ノベルです。周囲の人(架空の人も含む)たちの証言を集めた形で多角的にミショーさんの人生を再現し、写真や挿絵もたくさん入っています。

シンドラーに救われた少年 (河出書房新社)

著者: レオン レイゾン 古草 秀子訳

これ以上、悪いことが起こりませんように...! 「シンドラーのリスト」に載った最年少のユダヤ人による証言録。ユダヤ人大虐殺の過酷な体験を生き延びた少年と家族の物語です。



1行目「題名」

2行目「学年 組 番 氏名」

3行目 空ける 4行目 本文書きだし

* 最後に読んだ本の題名と作者・出版社を記入して下さい。

話題の本・新着本

羊と鋼の森」(文藝春秋) 宮下奈都著

ピアノの中を覗いたことはありますか? 「ピアノの中には羊が住んでいるんです。」

これは、作者の宮下奈都さんの言葉です。

羊とはピアノの弦を叩くハンマーに使われるフェルトのことです。そして鋼は、弦を指しています。

この本は、ピアノの森を歩み始めた調律師の青年の物語です。



世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ」

(汐文社) くさば よしみ著

リオデジャネイロで開かれた国際会議で、ホセ・ムヒカ大統領が残した伝説のスピーチを絵本化したものです。「貧しさとはなにか?」「本当の幸せとはなにか?」「人生の本質を見失ないがちな私たちに『本当に大切なこと』を教えてくれる本です。」



君の脾臓をたべたい」(双葉社) 住野 よる著

ショッキングなタイトルに、一瞬猟奇的な小説なのかと思い、躊躇してしまいましたが、読んでみると全然違いました。

脾臓を病み余命宣告を受けた少女と、そのことを知る唯一のクラスメイトとの交流が描かれています。著者のデビュー作で、いきなり「本屋大賞第2位」に選ばれた感動作です。

6月に本校に教育実習生として来られた
宍戸克幸先生からのオススメの本2冊です。

『ツチヤ教授の哲学講義—哲学で何がわかるか?』
(文春文庫) 土屋 賢二著

『フェルマーの最終定理』
(新潮文庫) サイモン・シン著



▼夏休み期間の図書館の開館日▼

7月21日(木)～8月2日(火)
の平日です。

開館時間: 9:00～16:00

9月1日(木)の始業式には忘れずに、
返却してね!



